

第17回市民賞

坂本清男さん 谷 勲さんを表彰

《産業、福祉》 坂本清男さん

(奥崎・78歳)



昭和十二年五月から三十一年九月の後免町合併まで旧瓶岩村議会議員として村政発展に尽力。町村合併にも活躍された。

三十七年十一月から現在に至る間、南州市農業委員会委員として激動期の農地行政、農業振興行政に尽くし農業の近代化に今なお努力している。この間、五十八年から五十九年まで南州市農業協同組合運営委員長として米の再編対策、特種農作物等の導入、農産物生産組織強化に努力された。

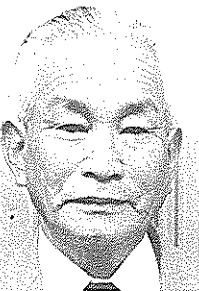
また、旧瓶岩村農業協同組合理事、旧瓶岩地区農業共済組合理事、

市政発展に功勞のあつた個人や団体に贈られる「市民賞」に、今年は個人二人が選ばれました。
市民賞を決める選考委員会（吉村雅男会長・委員十人）は十月十五日に開かれ、市民から推薦のあつた坂本清男さん、谷勲さんの二人を表彰することを決めました。表彰式は、十一月三日（文化の日）に市役所で行われ、小笠原市長から表彰状と記念品が贈られます。

南州市農業共済組合理事、国見森林組合監事・理事の要職を務めるなど林道の整備等にも尽力。
二十九年には瓶岩村中央公民館建設委員として、自ら多額の資金を寄附し建設に貢献。四十三年から瓶岩地区公民館運営委員長、五十三年から瓶岩地区老壮クラブ会長、そして六十年六月から南州市老人クラブ連合会長に選任され、心身とも豊かな高齢化社会をつくるため活躍されている。

《一般》 谷 勲さん

(左右山・68歳)



昭和五十二年一月、左右山部落の総代に推され、今日まで地域共同体の福利増進と社会福祉への奉

仕活動を続けている。
五十三年、比江山に高知県中央木材団地を導入するための開発問題が起こり、これに対応する地元組織として国府地区比江山対策委員会が結成されると、衆望を担って委員長の重責を負い困難な対応策の激務に挺身され、諸問題を沈着に処理して事態を円満解決に導くことができたのは、氏の公益への奉仕精神のたまもので、その功績は大である。

更に、国道32号東バイパスが左右山地区中央の美田地帯を貫くことになったため、この交渉あつせんあたり、地権者会の中核となつて用地買収の急速な完結に尽力。
その後も工事施行に伴う種々の問題について日夜努力を重ね、六十年には本工事に関連して左右山川上流の改修が必要になると、その問題解決に努力され、改修工事の年度内着工が見込まれることとなり、国の高速道建設事業という公益推進に大きく貢献している。

市民憲章

わたしたちの郷土南州市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。

☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。

☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。

☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。

☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。

☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。